



起業プラン考えよう

高経大
附高生

高崎

起業について学び、ビジネスプランを考えようと、高崎経済大附属高（浜野雅樹校長）の生徒約80人が、高崎市の同高で特別授業を受けた。写真。生徒は、顧客ニーズの把握方法や広告戦略の重要性などについて理解を深めた。

体験学習を中心としたプログラムを選択する1、2年生が取り組んだ。日本政策金融公庫北関東信越創業支援センター（さいたま市）の上席所長代理で、同高卒業生の竹本大介さん（37）は高崎市出身。講師を務め、「社会の課題を解決するための商品を考えて」となどと呼び掛けた。

生徒は今後、ビジネスプランを立て、同公庫が主催する「第7回高校生ビジネスプラングランプリ」への応募を目指す。